



# さざんか



格子模様の素敵な建物「かしの木工房こはま」

## 内容

- ついに完成！  
「かしの木工房こはま」
- 突撃！隣のケアホーム（ゆりホーム）
- 事業所ミニだより
- 第5回さざんかよいところカーニバル
- 先進地バス見学会  
滋賀県・がんばカンパニー
- ボランティア訪問（織りの縫製）
- 宝塚サマーフェスタ
- 栄養士さん・看護師さんの知恵袋
- 日誌・人事
- 新会長インタビュー
- お知らせコーナー

発行 社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚さざんか福祉会後援会  
運営事業所 宝塚さざんかの家 宝塚あしたば園 宝塚めふプラザ 宝塚けやきの里 ワークプラザ宝塚  
かしの木工房こはま いきいき宝塚 障害者就業・生活支援センター（あとむ）  
相談支援センター（だんぼ） 在宅支援センター  
法人事務局／後援会事務局  
宝塚市安倉西3丁目1番5号 宝塚さざんか福祉会 電話0797-83-6544 FAX0797-83-2510



# 「かしの木工房 こはま」 竣工式・開所式

「かしの木工房 こはま」は中川市長をはじめ、関係者臨席のもと9月23日に竣工式を行いました。

10月1日には利用者、ご家族、職員が揃って入所式、始業式を行い、生活介護事業18名のSasanQualityを含む、就労継続事業30名、定員48名の新事業所がスタートしました。

東日本大震災の影響を受け、平成24年極寒の1月、約半年遅れて工事がスタートしました。道行く人々は、いったい何ができるのだろうか、大きな関心を寄せていたようです。

そして8月後半、建物を覆っていたシートが取れると、そこには、景観保存地区小浜にふさわしい格子模様



の格式のある建築物が現れ、ますます「この建物はいつたい何？」と興味津々だったそうです。一段と目を引くのは、玄関両サイドのステンドグラスと階段下のスタンドとブラストの4枚の小窓です。

これらは宝塚さざんか福祉会後援会の寄付により、めふづラザが制作しました。大作を請け負った「チームめふ」として職員と利用者が一丸となり完成させたということなのです。



また、玄関前の「かしの木工房 こはま」の看板は、いきいき宝夢利用者の山田英幾さんに書いていただきました。とても情緒のある看板で好評です。



スタンドグラスが素敵な玄関

## 中川智子宝塚市長からお祝いの言葉をいただきました



ソプラノ歌手・森井美貴さんの美しい歌声に癒されました

## 開所して1カ月

開所して1カ月が過ぎた現在、利用者16名で作業をしています。

作業内容は、2階のクッキー、ケーキの菓製造作業を中心に、1階の受託加工作業室では箱折り、ダイレクトメールの封入などの軽作業を行っています。

2階の製菓作業室はクッキー室とケーキ室に分かれており、入ってすぐの前室では、帽子や、白衣上下などの着衣、手洗い、マスクの装着など、今まで以上に衛生面のチェックを厳しく行っています。

それぞれの作業室は多くの新しい機材を、作業の動線を考えて配置しています。

10月1日の始業に合わせて前もって、焼き方や、焼き上がりの調整を行いました。



1カ月経過した現在では、およそ2倍近く広くなったスペースで、機能的に作業が進み、焼き上がりも順調です。そして出来上がった製品は、製品庫に収納します。

## SasanQualityの力

収納された製品は、

注文に応じ

て製品を入

れる「ばんじゅう」と

いう四角の箱に分けて

入れ、1階の製品置き場に降ろします。

1階の製品置き場に

はかしの木工房の従

たる事業所となったショップ「SasanQuality」の利用者と職員が毎日ここから、配達や販売、店舗への納品業務を行います。

広々とした1階食堂では、法人管理栄養士が立てた献立によりエムササービスの調理員さんが作った昼食をおいしくいただいています。

「SasanQuality」の利用者と職員も、こ

こで昼食をとり、休憩時間を一緒に過ごすなど交流の場になっています。



## 楽しいいきいき!

これからの「かしの木工房 こはま」は

「お仕事をしたい」

「地域で活躍したい」

「出来ることを増やしたい」など利用者の皆さんの思いを大切にしていきます。

利用者、職員が一体となり「お客さんに喜んでいただけるお菓子作り」を通して、一人一人が役割を持って働き、また、地域の行事にも積極的に参加するなど地域の一員としても活躍したいと思えます。





# 突撃！隣のケアホーム

## 第七回 ゆりホーム

今回は、「宝塚いくせい会生活支援ハウ  
スつばさ」と「安倉あじさいホーム」に隣接す  
る女性ばかり4名の『ゆりホーム』を訪問しま  
した。

### ★ダイエット継続中？

10月4日の夕刻、夕食の支度でお忙しいなか  
支援員の知念さんが広報部員2名を迎えて下さ  
いました。

ここは平成14年に開所した3階建てで、1階  
は和室(中井さん自室)とトイレ、物置部屋、エ  
レベーターが設置されていました。

2階は洋室2部屋(具志堅さんと鈴木さん自室)  
とL・D・Kです。3階は洋室(山中さん自室)  
と洗面所、風呂です。

洗面所には、各自の洗濯物が干してあり少し  
窮屈そうでした。

私達2名も仲間に入れてもらい、18時過ぎに  
皆さんお待ちかねの夕食が始まりました。

今日の献立は、豚肉の生姜焼き、小松菜と厚  
揚げの煮物、もずくの酢のもの、エノキの吸い  
物でした。メインのおかずは、毎日ホームのメ  
ンバーのリクエストで決まり、他は知念さんが  
塩分や栄養のバランスを配慮して決められるそ  
うです。

皆さんダイエット中ではおん茶碗がこども用  
くらいの大きさです。もちろん他のケアホーム  
のように食後のティータイムもありません。



かしの木工房 こはまの開設に先立ち、  
9月1日より、製菓製品の価格改定とパッ  
ケージ変更をいたしました。

原材料の高騰により価格の維持がで  
きなくなったためです。

ご愛顧いただいている皆様には、今  
まで以上においしい製品をお届けでき  
るように努めてまいりたいと思いま  
すので何卒ご理解のほどお願い申し上  
げます。

### 新価格一覧表

商品	種類	旧		新		備考
		容量	値段	容量	値段	
クッキー	ミックス・ゴマ・チョコ	10個	150円	7個	150円	包材変更
	シンシア・ウインク	1枚	50円	1枚	80円	
	補助犬セット	2枚	100円	2枚	150円	
	シュニッテン	2本	100円	2本	150円	包材変更
ケーキ	パウンド チョコ以外	容器(大・小)	400円	容器統一	500円	包材変更
	パウンド チョコ	容器(小)	400円	容器統一	600円	包材変更
	フルーツケーキ(カット)	1個	100円	1個	150円	エイジレス入り 西谷産卵使用
	フルーツケーキ(ホール)	1本	800円	1本	1000円	エイジレス入り 西谷産卵使用
	カップケーキ	2個	100円	1個	60円	注文生産
ラスク	ケーキラスク	70g	200円	80g	300円	包材変更
	大袋 店頭売りのみ	140g	400円	150g	400円	
スコーン	プレーン・レーズン	1個	100円	1個	150円	西谷産卵使用 包材変更



### ★お仕事頑張ってます

食後皆さんにお話を伺いました。洗濯、  
掃除は各自でし、朝も各自で起きるとのこ  
と。(過保護の私は感心しきりです)

具志堅さんは社会福祉法人宝塚いくせい  
会の宝塚育成事業所で介護用品の消毒のお仕事  
をされています。仕事中に足を骨折され、今も  
足が不自由ですが頑張っておられます。ホーム  
では一番のお姉さんで皆さんに具志堅さんだけ  
は「さん」づけで呼ばれていました。

中井さんは宝塚さざんかの家で、室外清掃の  
お仕事をされています。夕食後、毎日腹筋運動  
を欠かさないそうでこの日も20回されていました。

山中さんは朝早くから阪神バスに乗り、新事  
業所のかしの木工房こはまで下請けの仕事をさ  
れ、今は「はみがきの箱作りです」とハキハキ  
と答えて下さいました。

鈴木さんの仕事は宝塚けやきの里での下請け  
作業です。「一番楽しい時間は？」と尋ねたら  
「ごはんを食べてる時！」と明るい声が返って  
きました。

### ★レクレーション

クラブ活動  
は毎月曜日の  
午後5時〜6  
時半で内容は  
皆で話し合っ  
て決め、前回  
は4人合作の  
ちぎり絵での似  
顔絵を上手に



特徴をつかんで仕  
上げ、壁に飾って  
ありました。今は  
刺し子に挑戦して  
いるそうです。



今クリスマス会の内容を皆で相談している  
最中とのことでしたが、わくわくしながら話し  
合っているのですね。

又、近隣のケアホームの方達と合同での食事  
会も大きな楽しみのひとつだそうです。

### ★女性ならではの…

見せていただいた利用者さんの部屋は女性ら  
しくきちんと片づけられ、可愛らしいぬいぐる  
みがいっぱいでした。

部屋掃除も各自でされているそうで、出来る  
限り自分のことは自分でするという姿勢には感  
心しました。

知念さんに見送られて玄関を出ようとしたら、  
利用者さんが「忘れ物！」と椅子にかけ忘れて  
いた私の上着をわざわざ持ってきてくれました。  
女性ならではの細かい気遣いに感謝です。  
お世話になりました。

(広報部)





# 事

# 業

# 所

# 三

# 二

# だ

# よ

# り



**宝塚げんかの家**

『始めたばかりのブックトーク』

8月からブックトークを始めました。テーマを決め、内容にあった本の紹介をしています。本の朗読をしたり、歌を歌ったり、体を動かしたり・・・

一般のブックトークに加え、聞き手に参加していただく内容（本の読みあい・手遊び・工作など）をプログラムに加え、共に過ごす時間、ほっこりした時間を提供できるようにボランティアの方に工夫をいただいています。

10月のテーマは「風邪の予防」についてでした。風邪をひかない強い体をつくるには、よく噛んで食べる、果物に含まれる栄養、水について・・・紹介された本を写真に載せました。職員も楽しみにしている時間です。

**宝塚あしたば園**

私はさざんかの家に勤めて半年になるので、初めはどういう支援をした方がいいのか？悩ましました。

時間が経つにつれて利用者一人一人の名前やどういう方なのか少しずつ分かってくれていくうちに自分自身も成長して行きました。

ある利用者は初め名前も覚えてくれなくて私が「誰？」と聞いても「わからない」と言ってしまうので覚えてくれませんでした。どういう風にしたら名前を覚えてもらえるのだろうか？と考えた事もありました。

しかし自然のままが一番ではないかと思いついたままです。

時間が経つにつれて私もその利用者の事を少しずつ理解していきうちに私の名前を覚えてくれて、今となっては毎朝、私を見つけただけでとても笑顔で名前を呼び嬉しそうに話してくれます。

毎朝、聞きたびに今日も一日頑張ろうという気になります。

それが私の元気の源でもあり今でも継続している元気の出るエピソードです。

（支援員 坂本宏太）



**宝塚あしたば園**

平成24年10月28日（日）利用者の皆さんが楽しみにしていたキャピリンピックが残念ながら雨天の為体育館を使って午前中のみの開催になりました。

あしたば園では、午後から園に戻り風船バレーやドリフ大爆笑のDVD鑑賞などの普段の日課では中々出来ないレクリエーションゲームを園内で行いました。

利用者の方々は欠席者が多く残念でしたが、ボランティアさんも一緒に参加してくれましたので、ゆつたりとした雰囲気の中、みんなでワイワイと職員も久しぶりに楽しい時間を過ごしました。

又、時々はこちらといった機会を普段の日課でも作っていききたいですね。



**ワークプラザ宝塚**

好天のはずだった予報が、バスが動き始めた途端、空がポタポタと泣きはじめ、犬鳴山（いぬなきやま）温泉に着いた頃にはシトシト降りになっていました。

今日はワークプラザの一泊旅行。初日はUSJで思いっきり遊んでクタクタなってもらい、大阪の奥座敷？犬鳴山（いぬなきやま）温泉でトコトン美肌を磨いてもらい、二日目は金平糖（こんぺいとう）でイタイ虫歯になってもらおうとの魂胆が、ズバリ的中した一泊旅行でした。（シテヤッター！！職員一同）

仕事をする時はビシッと集中、遊ぶ時はめちゃ全開。人生メリハリ、これがワークプラザの生き方だ。

何がなんやらの方に、業務連絡

10月11日 10時  
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

17時  
犬鳴山（いぬなきやま）温泉 グランドホテル紀泉閣

10月12日 10時  
「堺・緑のミュージアム ハーベストの丘」

14時 コンペイトウミュージアム

楽しかった2日間、来年はどこに行こうかな？

**宝塚めふらザ**

秋の深まりを見せる、福祉コミュニティプラザ。大きなユリの木の並木の落ち葉が風に吹かれて、ザー カラカラ・・・と波のような音を立てています。

24年度スタートして、8か月が経ちましたが、なかなか作業の日課になじめない新入りの利用者Aさんを見て、2年先輩のBさんが、「Aさんにも、表を作ってあげたらいいのよ。きつと、頑張れると思うわ。」と職員に話してくれました。

Bさんは、遅刻してしまうのが悩みでしたが、遅刻せずに来たら、大好きなキャラクターシールを連絡帳の表に貼ってもらおうようにした事で、朝の通所に楽しみや達成感が増えて頑張れるようになったからだと教えてくれました。

自分が出来た経験を、他の困っている人にも教えてあげたい。そんな優しい気持ちのこもった発言に、職員もジーンと心ふるえた一場面でした。



**いきいき宝塚**

今期間、いきいき宝塚であった二つのトピックスを紹介します。

1つ目は大規模な環境整備を行いました。耐久年数が限界にきていた空調、ボイラー設備をはじめ、傷みの激しい浴室、トイレ、居室等の改修工事を行いました。それと併せて施設内の清掃にも力を入れてきました。

入居者の皆様により快適で、衛生的な生活を日々送って頂けるよう環境整備を心掛けています。

また、施設内外では西谷農園の環境整備も実施し、手すりとスロープを作り、小屋や水道を改修して、より入居者の皆様が活動しやすい環境になりました。

2つ目は7月12日、13日に姫路、神戸方面へ一泊旅行を実施しました。

今年度はいきいき宝塚では初めてとなるグループではなく全員で一泊旅行を企画しました。初めての試みということもあり不安もありました。また、当日の朝は雨が降っており、天候に対する不安もありました。

しかし、皆様楽しく参加され、大きな怪我や事故も無く無事に終えることができました。

当日の朝降っていた雨も旅行に出发すると次第に止み始め、天候にプログラムが左右されることもありませんでした。

今後も環境整備を日々行っていく、また、入居者の皆様に楽しんで頂ける企画を考えていきたいと思っています。





### 第5回さざんかよいとこカーニバル

#### 垣根を越えて！祭りにGO



寒空の下、12月1日(土) 昨年度に引き続き、地元安倉小学校の広い校庭にて市内外の他の団体にも呼び掛けて盛大に催されました。32の模擬店が軒を並べ、利用者の方、家族の方、地域の親子連れと多くの参加

者で賑わっていました。ゲームコーナーでは、「ふわふわスーパーマリオ」や、幼児も楽しめる「ミニバスケット」、大人も必死になる「眼力王(モグラたたき)」がありました。模擬店では、自主生産品の販売の他、焼きそば、たこ焼き等の飲食店も並び、なかでも「でえくさんず」による、つきたてのお餅が振る舞われるコーナーには長い列ができて、2.5×12臼の餅は昼頃には無くなっていました。また体育館横の特設ステージでは利用者さんや地域の方、子ども達のグループに続き、篠山出身の兄弟デュオ「ちめいど」のライブで最高に盛り上がり、その後「スタジオFC」のダンスも披露されました。観客席でも手拍子を交えて一緒に踊るなど、楽しい時間を共有されていました。

(広報部)

### 「がんばカンパニー」は街のお菓子工場でした



季節が一步前に進み、深まりゆく秋の気配を感じる11月14日、恒例のさざんか福祉会後援会の施設見学会があり、参加者53名で滋賀県大津市にある社会福祉法人共生シンフォニー運営の「がんばカンパニー」を訪ねました。

就労継続A型事業所として、現在19歳から67歳まで49名の様々な障害のある方が働いています。

平成22年に完成した新工場は、製造から出荷までシステムティックに整備されていて、ガラス越しに見える作業風景は福祉施設と言うよりはお菓子工場そのもの。

特に衛生管理は徹底していて、ほこりや毛髪が入らないように全員の体にローラーをかけます。

作業内容は、それぞれの障害特性や個性に合わせて工夫されており、すべてのスタッフが快適に仕事を出来る様に考慮されています。



障害のある人も職員と同じ就業規則(月給・時間給の違いのみ)、最低賃金保障、平均月収10万円、まさに「働

く場」です。

1986年、無認可の小規模作業所としてスタート、2003年に社会福祉法人格取得、2008年就労継続A型に移行、そして、現在2億円の売り上げを誇る事業所です。

十数名の小規模作業所から現在に至るには、何度かの決断の時があったと言われます。大きくなったことが良いことなのか分らないと言われる言葉とは裏腹に、むしろ施設としてのこだわりと自信が感じられました。

又、共生シンフォニーでは就労継続B型と生活介護の多機能型施設を2ヶ所運営しておられ、それぞれの施設の目的を明確にし、働く場とサービスを受ける場に分けられています。

見学の最後はもちろんお買い物です。施設入口ホールには約40種類もあるクッキーやお菓子がズラッと並び、余りの種類の多さになかなか決められない方も…。お土産を手次に向かったのは、紫式部が「源氏物語」を書きはじめたと言われる、紅葉真つ盛りの石山寺。

目の前にそびえるような階段に、少々怯んでしまいました。上から見下ろす風景もまた格別で、しばしの間、錦秋の趣を堪能しました。

その後は、お待ちかねの昼食タイム。目の前に広がる雄大な琵琶湖を眺めながらのバイキングに参加者の皆さんも大満足の様子で帰路に着きました。

(事業部)



### ボランティア訪問

#### ★10年間ありがとうのついで★

#### さをり織と生地を思いをこめて



宝塚めふプラザで製作されている、さをり織を使った衣料のデザイン、縫製を10年にわたってお手伝いくださった有田美恵子さんに、ご自身の作品が並ぶSasanQualityで話を伺いました。

有田さんはご結婚後、独学で縫製を学ばれ、三角布から始まり白衣の前掛け、婦人服、そしてコートを縫製するようになったそうです。その丁寧な仕事ぶりから百貨店のスーツのお直しもされて

#### きっかけは、間違い電話？

10年程前、有田さんの家の前を偶然通りかかった人が、ミシンの音を聞いて「福祉施設の縫製を手伝ってくれる人を探しているそうですよ」と声をかけられました。

「後で連絡します」と答えられ、後日ご自分で電話番号を調べ連絡したところが、さざんか福祉会でした。ところがその募集していた施設とは関係がなく、最初は話がかみ合わなかったそうです。

### ボランティアをわたくしよかっただけど、苦勞されたことばっ

ただこれも何かのご縁と、さざんか福祉会がお手伝いをお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。

不思議なご縁が重なって10年という長い間ボランティアに携わって頂きました。

「障害者のイベントに参加した時、それを支えるスタッフの深い思いに胸が熱くなりました。縫製では商品にするために、さをり織の色合わせやデザインに苦勞しました」と感慨深げに話してくださいました。

近年は目、肩、腰に負担が掛かり始め、10年を機に卒業されることになりました。

一年前から後継者を育てられ、その意志と技術を繋いでくださいました。優しいお顔の中に凛とした職人のプライドが感じられ、背筋を伸ばしお話に聞き入ってしまいました。

10年間本当にお疲れ様でした。

(広報部)



### 手作り小物がいっぱい

#### 宝塚サマーフェスタ

#### 2012

東日本大震災復興支援！みんなで作ろう宝塚まつり「宝塚サマーフェスタ2012」が8月



20日(月)末広中央公園で開催されました。



公園中央には盆踊りの特設櫓が組みまれ、子どもたちが長蛇の列を作っているジャンボ滑り台も設置されていました。それらを取り囲むように30のブースがあり、その中にさざんか

福祉会の幟を見つけました。

さざんかのロゴマークの入りのTシャツとエプロンを着けた職員が販売にあたり、机上には自主生産品のケーキ、クッキー、織り、組み紐などのかわいい製品、乾燥糸こんにゃくなどが並べられていました。

日が暮れたら登場するであろうスタンドグラスは後ろに準備されていました。

店頭では、いろいろ迷ったあげく、ストラップを求めた小さな姉妹のお客と職員のほほえましいやり取りの場面にも出会いました。

平日の開催にもかかわらずステージではプログラムが進み、時間と共に人の数もどんどん増えてくるような賑わいでした。

(広報部)



# 平成24年度定期総会

## 「大震災を乗り越えて」の二人をお迎えして



5月24日(木)アピアホールにて宝塚さざんか福祉会後援会の定期総会が72名出席のもと開催されました。

今回で勇退される会長の挨拶、来賓挨拶、謝辞に続き議事は滞りなく進みました。

小田切新会長の挨拶があり、金岡会長の25年にも亘る功績に対する感謝の言葉と花束を贈呈して終わりました。

休憩の後、震災以来宝塚市と交流のある宮城県より来て頂いたお二人に当日の生々しい17分間の映像も交えて体験談を伺いました。先ず、「組織だからできたこと」と題し宮城県手をつなぐ育成会事務局長の芳野友紀様より厳しい体験とその後の全国から寄せられた支援活動などの報告がありました。

さらに、全日本育成会から声をかけてもらって補正予算が生まれ、職員が増えてがんばっていること、そして学ばせていただいたことを全国に伝えていきたいと話が結ばれました。

続いて、南三陸町愛の手をつなぐ親の会会長の千葉みよ子様より未曾有の災害を受けた町の様子やご自分の痛ましい体験談を聞き、お顔が正視出来ないほどの衝撃を受けました。

遠くから来て生の声で伝えていただいたメッセージは出席者の方々の心に十分届いたと思います。震災復興希望リレーの「ひまわり」が広がっていくことを願いながら。(広報部)

## 垣根をなくしたい!

### 小田切新会長にインタビュー

平成24年7月20日

## 自己紹介

小田切隆幸です。隆の生まれるの上によこ一本が入るのは親が字数で決めたようです。昭和35年7月29日生れの鼠年51才です(取材時)。生れは東京都杉並区です。でも関西で住んでいる方が長いです。



敷島紡績の布団の生地を作っている子会社の寝具の間屋で働いていた経験を活かし、平成2年9月17日に株式会社小田切を立ち上げました。10月10日に逆瀬川のアピア3の一階に屋号「宝塚アトーン」という寝具店をオープンしました。

丁度30歳の時に事業を創めて今年で22年目です。カーテン、ブラインド、ロールスクリーンやインテリアのリフォーム等も行っていきます。

## 商工会議所に入って

関東からきたので友達がいなかったのですが、アピア3の方達と仲良くなり声をかけて頂いたのが事の起りです。当時、宝塚市の商工会の青年部にすぐ入れてもらい色々勉強をさせてもらいました。

## 福祉会に入られたきっかけ

金岡前会長と前市議会議員の菊川さんから、さざんか福祉会の役員のお誘いがありました。2人は宝塚ライオンズクラブのメンバーで、私は宝塚グリーンライオンズクラブのメンバーでした。さざんか福祉会の事は全く知らなかったのですが、繋がりはあったようです。

## 障害者への思い

宝塚グリーンライオンズクラブは社協のクリスマス大会でサンタさん役やプレゼントを贈っていただきました。当時の社協の会長は桑原さん(利用者保護者)、青年会議所の仲間は島田さん(宝塚懇会長)でした。昔バザーをアピア3でされていた時にはお手伝いもしていました。壁があると感じます。きっかけがないと仲間に入れないし、なかなか知り合いになれないと思います。差別をするのはいけなく分かっていても障害者にどう接していいのか分からないので、どうしても色メガネで見えてしまう人もあるかと思えます。福祉会にはそこを勉強したくて飛び込みました。

## 栄養士さん・看護師さんの知恵袋



街はすっかりクリスマスマス。今年は何ケーキの予定ですか?子供の頃はバタークリームがケーキでした。今でも時々みかけますが食べなくなりましたね。とはいえ、最近流行のマカロンにはバタークリームがサンドされているのですよ。



生クリームについて  
牛乳から乳脂肪分以外の成分を除去したもので高脂肪・高カロリー食品です。  
良質な蛋白質、ビタミンA、D、カルシウム等を含み、骨や歯の強化、子供の成長促進等に期待できます

脂肪分を多く含むので、コレステロールや動物性脂肪が気になる方、生活習慣病が気になる方は、食べ過ぎに注意を!(植物性脂肪だけや混合で作られているタイプを使うのもいいですね。)

生クリーム・果物・市販のスポンジでクリスマスケーキを作ってみませんか?  
●泡立てる時、ボールのお尻を氷水にあてる等、冷たい方が早くできます。  
●余った生クリームは、アルミホイルに小さい塊で並べながら絞りだし、冷凍する。  
固まったらビニール袋やタッパーに入れて保存する。  
コーヒーに浮かべて楽しみましょう。  
栄養士 佐野智絵



お餅のおいしい季節になりました。喉に詰まらせやすいものは、お餅やごはんなどがあります。もし窒息をおこしたようなサインがみられる場合はまず、気分を落ち着けて救急車を呼びましょう。

電話を通してあなたが行うべきことを指導してくれます。



手当について  
(1) まず咳をすることが可能であればできる限り、咳をさせます。  
(2) 咳もできずに窒息しているときは体を支えながら手のひらで肩甲骨の間を4〜5回、強くすばやく叩きます。  
※掃除機による吸引は応急手当として確立されていないためお勧めできません。  
事故を防ぐために、餅や肉片は、小さく切って食べやすい大きさにし、食事の際は、お茶や水などの水分と一緒に食べるようにしましょう。  
看護師 財津雅代



障害者との垣根を無くせるなら無くしてしまいたい。きっかけがなかったら気軽に接するのも難しい。垣根や隔たりがないのが理想です。さざんか福祉会が就労のトレーニングをすること、受け入れる企業があることは素晴らしいと思います。企業就労の事で僕がお手伝いできるのは知り合いに声をかけ、きっかけを作ることです。就労のトレーニングを受け入れた企業は垣根がなくなっていくと思います。障害者は団体のその中で動くのは良くないと思います。福祉の中だけでいるのは自分達で垣根を作っていると思います。

何か協力したい。自然な付き合いができるようになります。自然にとびこめていけるようにしたい。小田切会長から熱い想いをお聞きしました。(広報部)



終始和やかな雰囲気の中、インタビューが行われました



日誌

自平成24年5月1日  
至平成24年12月1日

12	11	11	11	10	10	10	10	9	9	9	9	9	8	8	8	7	7	7	6	6	5	5	5
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
1	16	14	10	28	26	11	8	27	23	21	20	15	3	20	18	8	8	28	24	21	12	11	2
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
17	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

宝塚さざんか福祉会後援会総会  
 のじぎくスポーツ大会 陸上競技  
 のじぎくスポーツ大会 ボウリング  
 リサイクル販売会  
 第2回 新任職員研修  
 いきいき宝塚一泊旅行  
 法人研修 「施設職員が身につけて  
 おきたいビジネスマナー」  
 障害者虐待防止法研修 (管理者、主  
 任向け)  
 夕暮れコンサート  
 障害者虐待防止法研修 (管理者、主  
 任向け)  
 法人研修 「障害者虐待防止・対応  
 にかかわる法の理解」  
 宝塚サマーフェスタ出店  
 なかよしプール  
 あしたば園一泊旅行 グループ①  
 めふプラザ一泊旅行  
 あしたば園一泊旅行 グループ②  
 かしの木工房 こはま 竣工式  
 けやきの里一泊旅行  
 かしの木工房 こはま 開所式  
 Sasagawa Lily 一泊旅行  
 ワークプラザ一泊旅行  
 県知的障害者福祉大会 (小野市)  
 キヤピリンピック  
 さざんかの家一泊旅行 グループ①  
 宝障懇ふれあいコンサート  
 後援会施設見学 大津市共生シンフォ  
 ニー 「がんばカンパニー」  
 さざんかの家一泊旅行 グループ②  
 さざんかよいとこカーニバル

お知らせ さざんか風

さざんか風は素材に昔ながらの紙と竹を用い、  
 手刷り・手描きを特長としています。  
 鮮やかな彩りのインテリアとして、また贈り  
 物としていかがでしょうか。  
 もちろん、非常によく揚がり、豪快なスポー  
 ツとしての風揚げを、楽しむこともできますの  
 で、必ずやお気に召していただけることと思  
 います。  
 今年度に限り定価1500円のところ1000円で販売い  
 たします。



巴御前 (ともえござん)



替 (しばらく)



三国志 (さんごくし)



正成 (まさしげ)



達磨 (だるま)

問い合わせ先 宝塚さざんかの家 0797-84-8700

編集後記

今年度から後援会の広報部に携わり、編集を一  
 緒にさせていたいただいています。  
 「かしの木工房 こはま」が完成し、めふプラザ  
 は玄関と明かりとり小窓のスタンドグラスの制作  
 をさせていただきました。後援会の皆様ありがと  
 うございます。

自分達の法人の新しい事業所の建造に携われる  
 喜びを感じつつ、失敗できないプレッシャーと戦  
 いながら、職員も利用者も一丸となって取り組  
 みました。

玄関のスタンドグラスには「さざんかの花」に  
 憩う鳥たち。さざんかの花は事業所を表し、「か  
 しの木工房 こはま」を利用する全ての人が、自  
 分らしく力をつけて飛び立ってほしいとい  
 う願いも込められています。

4つの小窓にはサンドブラストの技法が使われ  
 ています。ピンクはさざんか福祉会のロゴマーク、  
 グリーンは「かしの木工房 こはま」のイメージ  
 看板、ブルーは鳥たちが一生懸命お菓子を作り、  
 トパーズイエローは出来上がったお菓子がカゴ盛  
 りされています。

それを囲む9mmの格子状のスタンドグラスは利  
 用者の方だけでカットから仕上げまで全ての工程  
 を行いました。  
 夜はライトアップされて、また違った表情を見  
 せてくれます。

作品や支援やエピソードに込められた想いや舞  
 台裏。そういったモノもちりばめられた素敵な機  
 関誌にしていきたいと思いま  
 す。

どうぞよろしくお願いいた  
 します。(溝田)

